



CV-RCP-V2

Multi-Camera Control Touchscreen RCP

Operation Guide

1. クイックスタートガイド 初期起動・接続手順

内容物

CV-RCP-V2 カメラコントロール RCP タッチスクリーンユニット ×1 台
ユニバーサル 12V 電源(2.1mm コネクター) ×1 台

接続に必要なもの

- 3ピン XLR ケーブル(オスを RCP に接続)
- 3ピン XLR スプリット(複数カメラセットアップ用)

接続方法

- 12V 電源を RCP の DC 電源コネクタに接続し、コンセントに差し込んで電源を入れ、ソフトウェアを初期化します(最初の起動は 25 秒程度かかる場合があります)。
- 3ピン XLR ケーブルのオス側を RCP ユニットの上部に接続し(図 1 参照)、所定の位置に押し込んでください。
- カメラ側の XLR 生線をスプライスし、カメラモデル CV505/565/345/365 を使用する場合は RS485 フェニックスコネクタ(ブレイクアウトケーブルの)に挿入します(図 2 参照)。またはカメラモデル CV502/343/350 のリアパネル上の RS485 ポートに直接挿入してください。
- RCP ユニット上部画面の最初のカメラ割り当て(丸印)を長押し(4~5 秒)して、カメラモデルを選択し、出力フォーマットを選択し、RCP Label ID を割り当て、カメラ ID 番号を 1 に割り当てます。カメラの OSD メニューの DISPLAY CONTROL > CAM ID > 1 で一致させます。RCP のカメラモデルを使用するカメラに対応するように割り当て、“Apply”を押しします(図 3 参照)。セットアップする複数のカメラで 2、3、4、5、6、7 を使用します。
- RCP の制御位置とカメラの OSD メニューを一致させ、各カメラで Y ケーブルスプリッターを使用して、最大 7 台のカメラで繰り返します。
- セットアップが完了したら、OSD を開くか(OSD タブの下)、WB、Exp、その他の調整をして、コントロールが動作するかどうかを確認します。
- 注: 初期状態でコントロールが動作しない場合、カメラのフェニックスコネクタのワイヤーを交換して(どちらの部品も損傷しません)、もう一度試してください。
- マルチカメラの場合は、各カメラで 3ピン XLR(Y-SPLITS)またはマルチスプリッターを使用します。

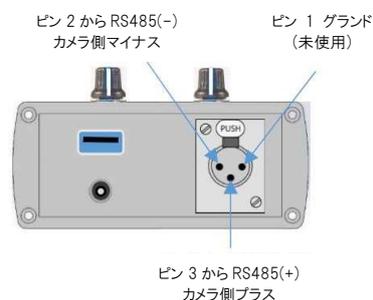


図 1

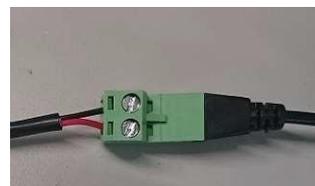


図 2

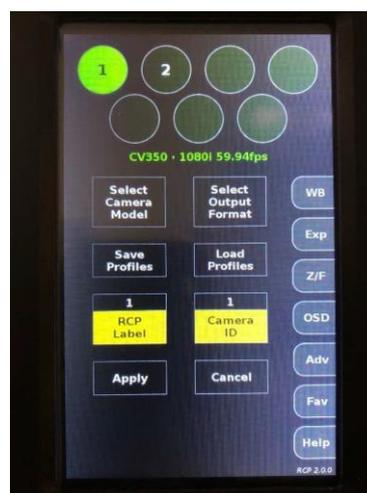


図 3

ヘルプタブ

CV-RCP-V2 には、RCP の特定のボタンについて説明するためのヘルプタブ機能が設定されています。ヘルプモード中は "Help" タブが点滅し、様々なボタンを押すことにより、より詳しい説明を受けることができます。

2. マルチカメラのセットアップとヒント

Marshall CV-RCP-V2 はソニー-VISCA (RS485) コマンドを 3 ピン XLR (銅) ケーブルで送信し、各カメラ位置まで 300m 以上 (1,000 フィート) の柔軟性を備えています。この長さは、RS485 制御コマンドをサポートする一般的なメディアコンバーターを使用してファイバーに変換すると、さらに長くすることができます。

ファイバーメディアコンバーターには、RS485 コマンドのみをサポートするものと、RS485 コマンドと 3G/HD-SDI ビデオの両方を 1 本のファイバーケーブルでサポートするものがあります。実際に使用するために特定のプロジェクトのセットアップ要件に依存します。

ピン 2 から RS485(-) カメラ側マイナス

ピン 1 グランド (未使用)

ピン 3 から RS485(+) カメラ側プラス

3 ピン XLR ケーブル 各カメラで Y スプリットカメラ

各カメラ位置で、生の銅線をブレークアウトケーブルの 2 ピン フェニックスコネクタまたはカメラの背面カメラパネルに接合します。

3 ピン XLR スプリッターボックスも使用可能で (1~3、1~5、1~7)、RCP ユニット 1 台につき最大 7 台のカメラが使用できます。

CV-RCP-V2-RMK ラックマウントは、CCU コントロールボードまたは放送用トラックにドロップすることもできます

RCP の銅線の端がカメラと一致している場合、+ から + および - から -、RCP はカメラを接続して制御します (下の写真はケーブルブレイクアウトに差し込まれています)

Marshall CV343/505 モデルでは、未加工の XLR 銅線がリアパネルに直接差し込まれています。

CCU カメラコントロールパネルに落とし込むように設計されたサイズと形状

ハードキャリーケースで各放送イベントに移動し、トラックから各イベントの POV カメラをリモートで調整 & マッチングすることができるほど軽量でポータブル。

保証

Marshall CV-RCP-V2 は、通常の使用条件下でご使用ください。

ご購入日から 1 年間は無償修理保証の対象となります。

この保証はご購入者様のみ適用され、無償修理保証を依頼する場合には販売店へご連絡ください。

シリアル番号が不明な場合、修理をお受けできない場合がございます。

この保証は、製品の外装や装飾品には適用されません。設計または構造の誤用、異常な取り扱い、変更または修正は、この保証を無効にします。販売者またはその他の販売員の販売担当者は、上記以外の保証を行うこと、または上記の期間を超えて、Marshall Electronics に代わって保証期間を延長することはできません。

製品および製品の機能を常に改善するための努力により、仕様は予告なしに変更される場合があります。

保証期間内でも以下の場合には有償修理または、修理をお受けできない場合がございます。

- 誤った使用方法や不当な修理、改造等を行っていた場合。またそれによって生じた故障、損傷。
- 落下などによる故障、損傷。
- 火災、天災地変(地震、風水害、落雷等)、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。

無償保証修理は日本国内においてのみ有効です。

日本国内サポート窓口

Marshall

BROADCAST & PRO AV

株式会社 M&Inext Marshall 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

<https://marshall-japan.com/>

contact@minext.jp

2023 年 12 月 18 日